

## 第 2 次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画 パブリックコメントの実施結果について

実施期間 令和元年 11 月 18 日（月）～ 令和元年 12 月 17 日（火）  
 意見提出者数 189 人（うち紙等での提出 26 人、E モニター 163 人）  
 主な意見と回答 別紙のとおり

【参考】閲覧箇所 豊田市地域包括ケア企画課、市政情報コーナー、各支所・出張所、各交流館、  
 豊田市社会福祉協議会地域福祉課、各社協支所、市ホームページ、E モニター  
 【参考】意見提出方法 直接持ち込み、郵送、ファックス、電子メール

### 【参考】意見分類と件数

事務局にて意見内容から分類。（※ 1 人の意見に複数の項目要素が含まれる場合、分けて整理）

基本目標 単位	分類番号	分類名	意見 件数
全般	意見その①	好意的な意見について	40
	意見その②	計画の分量・内容の難しさについて	17
	意見その③	計画の具体性・実効性等について	17
主に、 基本目標① に類する意見	意見その④	ボランティア活動等の情報発信・マッチング・参加促進等について	18
	意見その⑤	支えあいの地域づくり・包括的な相談体制の充実・顔の見える 関係性について	33
	意見その⑥	ボランティア活動等に対する特典の導入について	5
	意見その⑦	企業との連携・先進技術の導入について	7
	意見その⑧	障がい者等の支援・権利擁護等について	7
	意見その⑨	防災訓練・地域でのイベントの充実について	4
主に、 基本目標② に類する意見	意見その⑩	福祉教育の充実について	3
	意見その⑪	人材の育成・専門職によるバックアップについて	9
主に、 基本目標③ に類する意見	意見その⑫	多世代が交流・活躍できる居場所について	3
	意見その⑬	高齢者や障がい者等の活躍支援・働く機会の創出について	6
	意見その⑭	お助け隊等の充実について	4
	意見その⑮	子どもの居場所について	4
その他の意見	意見その⑯	移動・公共交通機関等について	4
	意見その⑰	その他	14
	意見その⑱	具体的な箇所の修正要望について	15
	備考	特になし	7
計			217

**【意見その①】好意的な意見について 40件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画は立派なものですばらしく、安心しました。私も、協力する気持ちは大いにあります。</li> <li>・ 詳しく説明してあるので、わかりやすいです。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見ありがとうございました。</li> </ul>

**【意見その②】計画の分量・内容の難しさについて 17件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章量が多いので読むのが大変でしたので、もっと簡潔に書いてほしいです。</li> <li>・ 難しくてよく分からなかった。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画策定の背景や各種事業の概要等、後々に見た際に理解しやすいよう、本計画には詳細に記載をしています。頂いたご意見を踏まえ、文章を精査したり、イメージ図を掲載する等、分かりやすさを向上しました。</li> <li>・ また、多くの方に手に取っていただけるよう、本計画の要点をまとめた概要版を作成しました。 →【参考】資料4 第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画 概要版             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全8ページ、カラー刷</li> <li>・ 地域福祉の概要、地域福祉に関わる4つの段階、基本理念、基本目標と重点取組、地域の活動事例紹介 を掲載</li> <li>・ 4月以降、市民や関係機関等に順次配布予定</li> </ul> </li> </ul>

**【意見その③】計画の具体性・実効性等について 17件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵に描いた餅にならないようにしっかり行うことが大事と思います。</li> <li>・ 実際にどのように実施して対応していくか明示して、実行して欲しい。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画や、障がい者福祉計画等、本計画に関連する各個別計画で事業を定めるものもあるため、本計画をそれらの個別計画へ反映して事業を実施します。</li> <li>・ また、重点取組ごとに評価指標を設定し、各年度に2回程度開催する「豊田市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」「地域福祉活動計画推進委員会」において、進捗管理を行っていきます。</li> </ul> <p>→【参考】資料6 第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理について (※報告事項1にて説明)</p>

**【意見その④】ボランティア活動等の情報発信・マッチング・参加促進等について 18件**

<p><b>主な意見の 抜粋</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動が広がっているものの、これから携わってみようとした時にどうすればとか、できることがあるのか等まだまだ敷居が高いと感じています。</li> <li>・ 「ボランティア」と意識して行動をしたことはないので、まず入口として、身近な情報をすぐ見られる工夫があると良いと思います。</li> </ul>
<p><b>事務局回答</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標1「地域の支え合いの仕組みづくり」基本的な考え方1「多様な主体による地域福祉活動の促進」重点取組1「ボランティア活動の促進」(計画冊子 53 ページ) に示したように、社協ボランティアセンターの機能強化を図っていきます。具体的には、ボランティアコーディネイト機能の充実や、ボランティア情報の発信を強化し、活動の促進や活動者の裾野の拡大を図っていきます。活動者の裾野の拡大においては、ボランティア活動や市民活動を支援する団体(中間支援組織)と連携を図りながら実施していきます。</li> </ul> <p>→【参考】資料5 地域福祉活動実践の手引書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全 96 ページ</li> <li>・ 地域福祉活動への参加・実践・継続のステップ、活動事例等を掲載</li> <li>・ 4 月以降、市民や関係機関等に順次配布予定</li> </ul>

**【意見その⑤】支え合いの地域づくり・包括的な相談体制の充実・顔の見える関係性について 33件**

<p><b>主な意見の 抜粋</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な事で考えてみると、自治区の組の中にもどういった人が住んでいるのか、支援を必要としているのか、認知症のお年寄りがいるのかさえ分からない状態は改善すべきだと思いました。</li> <li>・ どこへ行けば相談ができて、どのようなことをしてもらえるか具体的なことがわからないと支援を受けたくてもできません。相談に行ったときにわかるようにしておく必要があると思います。</li> </ul>
<p><b>事務局回答</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民が身近な場所で福祉等の相談ができる体制を整えるため、基本目標1「地域の支え合いの仕組みづくり」基本的な考え方2「包括的な相談支援体制の充実」重点取組1「総合相談体制の整備」(計画冊子 57 ページ) で示したように、全市的な総合相談体制の再整備とCSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)の効果的な配置を行うとともにそのPRに努めます。</li> <li>・ 本計画と同時に作成した「地域福祉活動実践の手引書」をCSWが活用し、様々な地域活動の取組事例の紹介・情報提供をしていき、支え合いの地域づくりを推進していきます。</li> </ul>

**【意見その⑥】ボランティア活動等に対する特典の導入について 5件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコポイントがもらえる、など、参加した人がきっかけだけでも得をする仕組みを考えてほしいです。</li> <li>・ ボランティア活動などへの参加者を増やすためには、活動自体が楽しいと感じられるような工夫が必要だと思う。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動等に対する特典の導入については、全国の動向等を注視した上で、検討していきます。</li> <li>・ ボランティア情報の発信を強化する中で、社協ボランティアセンターが発行する「ぼらんていあだより」等にやりがいや楽しさなど実際に活動しているボランティアの声を掲載し、活動の促進を図ります。</li> </ul>

**【意見その⑦】企業との連携・先進技術の導入について 7件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働く世代のまだ多い豊田市だからこそ、より一層の積極的な企業参加が求められると思いました。</li> <li>・ 愛知県豊田市だからこそ介護ロボットや自動運転の自動車等を交えた発想があると、多くの人の興味をそそる素晴らしい施策ができるのではないのでしょうか。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標1「地域の支え合いの仕組みづくり」基本的な考え方1「多様な主体による地域福祉活動の促進」重点取組1「ボランティア活動の促進」(計画冊子 53 ページ) に示したように、企業の社会貢献活動の促進を図ります。企業の社会貢献活動の促進においては、社協ボランティアセンターが発行する「ぼらんていあだより」等に企業の社会貢献の事例を掲載したり、企業の社会貢献を行う部署と情報交換・共有しながら進めていきます。</li> <li>・ ロボット等の先進技術の活用は、介護現場などでの働きやすさの向上にも寄与することから、導入促進に努めます。</li> </ul>

**【意見その⑧】障がい者等の支援・権利擁護等について 7件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後見制度の認知度が低い。広報啓発をした民生委員ですら62パーセントは残念である。</li> <li>・ 親亡き後の不安を払拭できるような支援体制を。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標1「地域の支え合いの仕組みづくり」基本的な考え方3「暮らしを支える環境整備」重点取組2「認知症高齢者、障がい者等の権利擁護の推進」(計画冊子 64 ページ) に示したように、判断能力が不十分な高齢者や障がいのある人等の権利を擁護する取組を推進します。</li> <li>・ また、本計画と連動して策定している「豊田市成年後見利用促進計画」や、次年度策定予定の「豊田市障がい者計画」にて支援策の検討を行います。</li> </ul>

### 【意見その⑨】防災訓練・地域でのイベントの充実について 4件

主な意見の 抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の福祉弱者対策を具体的に決めておくことの重要性が今年の台風災害時に明らかになった。</li> <li>・ 隣近所との関係も希薄になっているので、地域のイベントや、防災訓練等を充実させてほしい。</li> </ul>
事務局回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標1「地域の支え合いの仕組みづくり」基本的な考え方3「暮らしを支える環境整備」重点取組3「避難行動要支援者対策の推進」(計画冊子 66 ページ)に示したように、「地域の関係者と連携した支援体制モデルの展開」や「要支援者対策を取り入れた防災訓練」を推進します。</li> <li>・ また、地域福祉に関心を高め、活動のきっかけとしてもらうための取組やイベントを実施します。</li> </ul>

### 【意見その⑩】福祉教育の充実について 3件

主な意見の 抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校で子供と一緒に保護者が話を聞くことで、関心を持ってもらったりするのもよいのではないのでしょうか。</li> <li>・ 福祉、イコールボランティアではありませんが公平な社会を築くマインドの育成は小学生の頃から育てる必要があるのかな?と思います。</li> </ul>
事務局回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標2「地域福祉の担い手づくり」基本的な考え方1「地域福祉に関わる人材の裾野拡大」重点取組1「住民福祉教育の推進」(計画冊子 70 ページ)に示したように、市内の小中学生や高校生を対象に、今までの体験を中心としたプログラムに加え、高齢者や障がいのある人等との交流するプログラムを行って充実を図ります。</li> <li>・ 本計画と同時に作成した「地域福祉活動実践の手引書」に掲載されている様々な地域活動の取組事例の紹介・情報提供をしていき、福祉について知る機会や関心をもってもらうきっかけにしていきます。</li> </ul>

### 【意見その⑪】人材の育成・専門職によるバックアップについて 9件

主な意見の 抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉の担い手づくりがキーマン。とても重要と考えます。</li> <li>・ 安心して誰もが積極的に地域の福祉に関われるような、専門職の方のバックアップを細かく充実していく事が大切だと思います。</li> </ul>
事務局回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標2「地域福祉の担い手づくり」基本的な考え方1「地域福祉に関わる人材の裾野拡大」重点取組1「住民福祉教育の推進」(計画冊子 70 ページ)に示したように、とよた市民福祉大学を継続実施し、はじめの一步を応援する地域福祉の担い手づくりを行います。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、地域ごとの課題解決につながるよう、修了生の活躍支援を進めていきます。</li> <li>・ 本計画では、それぞれの立場の主な役割を示しており、地域住民だけでなく、専門職も役割を担います。</li> <li>・ 基本目標 1「地域の支え合いの仕組みづくり」基本的な考え方 2「包括的な相談支援体制の充実」重点取組 2「多分野の連携によるネットワーク形成」(計画冊子 59 ページ) に示したように、分野・職種がつながり、専門職同士が連携し合える体制を構築します。</li> </ul>
--	---

### 【意見その⑫】多世代が交流・活躍できる居場所について 3件

主な意見の 抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰でも立ち寄れるたくさんの小さな居場所作りが必要。</li> <li>・ 子供のいない、介護者のいない単身者などはあまり接する機会がないので、そことの関わりを創ることが大切だと思います。</li> </ul>
事務局回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 3「誰もが活躍できる仕組みづくり」基本的な考え方 1「社会参加・就労につなげる仕組みの構築」重点取組 1「活躍できる場の拡大」(計画冊子 79 ページ) に示したように、身近な場所で様々な世代・状況の人が気軽に集い、ふれあうことができ、参加者が役割を持てるような居場所づくりを推進します。</li> </ul>

### 【意見その⑬】高齢者や障がい者等の活躍支援・働く機会の創出について 6件

主な意見の 抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者や障がい者の働く機会の創出はこれからの高齢化社会に向けて対策していくべき課題だと思いました。</li> <li>・ 高齢者の方でまだまだ元気な方は沢山いらっしゃるの、いつまでも活躍できる仕組み作りは必要だと感じた。</li> </ul>
事務局回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 3「誰もが活躍できる仕組みづくり」基本的な考え方 1「社会参加・就労につなげる仕組みの構築」重点取組 1「活躍できる場の拡大」、重点取組 2「働く機会の創出」(計画冊子 79、82 ページ) に示したように、高齢者や障がいのある人等が個々の抱える課題や状況に合わせて、その人ができることを通じた社会参加や就労を促進します。</li> </ul>

### 【意見その⑭】お助け隊等の充実について 4件

主な意見の 抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとを気軽に簡単に相談できる「お助け隊」が各地域に存在するようになればいいなと思います。</li> <li>・ 老々介護ならぬ老々福祉は難しいかもしれないけれど、お助け隊ぐらいなら出来そうに思います。</li> </ul>
-------------	--

<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標 3「誰もが活躍できる仕組みづくり」基本的な考え方 1「社会参加・就労につなげる仕組みの構築」重点取組 1「活躍できる場の拡大」(計画冊子 79 ページ) に示したように、お助け隊等地域の支え合い活動をする団体の支援を行います。</li> <li>また、様々な方が役割を持って地域で活躍できるように促進します。</li> <li>本計画と同時に作成した「地域福祉活動実践の手引書」に掲載されている様々な地域活動の取組事例の紹介・情報提供をしていき、地域の困りごと等を地域住民の力で解決する、身近な地域での助け合い活動等の周知、促進を図ります。</li> </ul>
--------------	---

### 【意見その⑮】子どもの居場所について 4件

<b>主な意見の抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ無邪気な世代、小学高学年から早いうちにアクションを起こした方がいいです。</li> <li>支援を必要とされる子どもがまた見過ごされていくので、子ども食堂・学習支援と明記してほしい。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画は福祉に関する各分野の基盤計画ですので、子どもや障がいのある方、高齢者といったように対象を限定せずに取組を実施していきます。高齢者、障がいのある方、子どもに関しては、分野ごとの計画があり、それらの計画と連動しながら事業を進めていきます。</li> <li>子どもに関する分野について、第3次豊田市子ども総合計画を策定しており、子ども食堂・学習支援は、重点事業群の1つである「子どもの孤困きゅうさいプログラム」の事業に位置付けており、本計画には掲載していませんでした。しかし、本パブリックコメントにおいても多くのご意見をいただき、多世代共生を推進する事業としても重要な取組であるため、基本目標 3「誰もが活躍できる仕組みづくり」基本的な考え方 1「社会参加・就労につなげる仕組みの構築」重点取組 1「活躍できる場の拡大」(計画冊子 79 ページ) に示したように、主な事業の例示として、子ども食堂を掲載します。</li> </ul>

### 【意見その⑯】移動・公共交通機関等について 4件

<b>主な意見の抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉に対しても交通整備が大切だと思います。</li> <li>車社会の豊田市近郊では、都市部以外なかなか車の免許を返納した人は移動が難しいので、特定の日だけでも乗り合いで移動出来るような仕組みができると良い。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通基本計画等、関係個別計画に基づいた取組を行います。</li> </ul>

**【意見その⑰】その他 14件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次の結果を良かった点、課題としてわかったことを、次の6か年計画に入れるとか、豊田市の長期的課題ももっと色濃く入れて欲しい。6つの視点は主になって推進するのも明確だとい（一部で、行政や社協が中心でというのはあるが）。</li> <li>・ 地域活動に任せるのではなく、もっと市が動いて欲しい。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1次計画の各基本目標に対する評価について、「第1次計画の評価と今後の方向性」(計画冊子 29～33 ページ) に示しており、第2次計画に向けた方向性を定めています。</li> <li>・ 地域福祉は行政や社協だけでも、地域活動だけでも成り立たないため、様々な立場が協力し合って実施します。</li> </ul>

**【意見その⑱】具体的な箇所の修正要望について 15件**

<b>主な意見の 抜粋</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 3 について、内容からして「いつまでも活躍できる仕組みづくり」を「誰でも活躍できる仕組みづくり」、「誰もが活躍できる仕組みづくり」に変更した方が良い。</li> <li>・ 事例のどの部分が知るで、どの部分が関心を持つ、意識する、探すのかなかをわかるように表記すると良い。</li> </ul>
<b>事務局回答</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見の趣旨に即して事務局で修正を検討します。</li> </ul>